

## 「特別伝道集会まであと一週間」

吉田真司

「一万枚のチラシから一人でもお出でいただければ幸い」とは、これまでの伝道方策（チラシの戸別配布）でよく交わされていた認識でした。そのため何万枚ものチラシを作成しては、教会員総掛かりで地域を歩き回ったものです。「良い知らせを伝える者の足は、なんと美しいことか」（ローマ 10:14）とあるとおり、靴底をすり減らす努力の中で、伝道の思いを高め合ったものでした。

しかし今、あらゆる情報がデジタルで行き来するようになり、紙媒体でのそれは大きく後退するものとなりました。重ねて、昨今の宗教に対する社会的な警戒感、更には「お出で下さい！」との一言が言えなかったコロナ危機の4年間もあって、教会の集会へのお誘いは以前にも増して簡単ではありません。そんな世相にて、やはり力を持つのは、信頼できる関係での言葉掛けです。

イエス様の弟子の一人に「アンデレ」という人がいます。アンデレは元漁師でした。彼は、自分の兄弟シモン（あのペトロ）をイエス様のところへ連れて行きました。その時分かち合った言葉が「わたしたちはメシアに出会った」（ヨハネ 1:41）です。イエス様の弟子となるということは、「人間をとる漁師になる」こと。そしてそれは、「わたしたちはメシア（救い主）に出会った」という告白を、確信をもって他者に伝えることであり、そしてイエス様のもとにお連れする、ということです。「シモンをイエスのところに連れて行った」（同 1:42）の「シモン」の部分に、自分たちの家族とか友人の名を当てはめて考えてみましょう。その実現の時が来るのを何年も何十年も待って祈ってきた私たちではないでしょうか。「午後4時ごろのことである」（同 1:39）——それは間もなく日没を迎えようとする時、つまり「時が満ちた」という意味です。私たちの願うすべての方にイエス様との出会いの時が満ちるようにと祈りを強めましょう。どうぞ、伝道部作成の案内チラシ（葉書）を用いて、身近な「シモン」をお連れください。新しい出会いを期待し祈り、共に「誘い言葉」掛け合ってこの一週間を過ごしてまいりましょう。

## 教会の定例集会

|            |       |                                    |
|------------|-------|------------------------------------|
| 主日礼拝       | 日曜日   | 午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)              |
|            |       | 午前10:40～12:00 (会堂礼拝)               |
| 教会学校       | 日曜日   | 午前 9:30～10:20                      |
|            |       | (嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス) |
| 祈り会        | 水曜日   | 午後 7:30～9:00                       |
| 金曜集会       | 金曜日   | 午前10:30～12:00                      |
| 家庭集会 (相模原) | 第二火曜日 | 午前10:00～12:00 (竹村家)                |
| (すずかけ台)    | 第三木曜日 | 午後 1:30～3:00 (長谷川家)                |

## 日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&amp;FAX046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>